



「省エネチャレンジ」交流会を開催しました

■みなさんは「省エネチャレンジ」という取り組みをご存知ですか？CASAでは、地域生協の組合員を中心に、毎年夏と冬の2か月ずつご家庭で「省エネ」にチャレンジしていただいています。その取り組み内容や電気・ガス・水道等の利用量を記録していただき、CASAで「通信簿」を作成し、参加された方に結果を報告しています。

■生活協同組合おおさかパルコープ（以下パルコープ）でも取り組みがされており、参加された組合員から「省エネ」の取り組みをもっと知りたいとか、取り組んだ人たちと交流をしたいなどの要望をいただいたため、パルコープで企画をお願いし、省エネチャレンジに参加の組合員で交流会を開催することにしました。

とき：2016年10月27日（木）10：00～12：10

ところ：パルコープ京橋事務所 3階大会議室

■最初に当事務所の三澤より「家庭で取り組む省エネの取り組み」についてパワーポイントで報告がありました。

- 省エネとは、エネルギーの消費量を減らすこと
使用時間を短縮する。消費エネルギーの少ない機器を使用する。
- 省エネしても電気からのCO₂の排出量は増加している
石炭火力発電が増加しているから。
- 家庭で多く電気を消費している機器は冷蔵庫
・電化製品を買い替えようという方には、省エネ製品買い替えナビゲーション「しんきゅうさん」というホームページ (<http://shinkyusan.com/index.html>) があり、買い替え効果が比較できるので、ぜひ活用してくださいとの報告がありました。「今度冷蔵庫を買い替えようと思っている。早速帰って調べてみよう」という方がおられました。



■後半は、2つのグループに分かれて、省エネで取り組んでいることの交流や取り組みで困っていることまたその解決策などを話し合いました。

- 「できるだけ家族が一部屋で過ごすようにしている」「お風呂の残り湯は掃除、洗濯、トイレの水に利用している」「掃除機はあまり使わず、モップや箒を使うようにしている」などそれぞれがご家庭で努力されている取り組みの紹介があり交流が深まりました。
- 講師からは、暖房は全体暖房より部分暖房（こたつなど）の方が省エネ、電灯を買い替えるときはLEDを購入しては、冷蔵庫は満杯にせず購入した食材を効率よく使いましょうとの提案がありました。

■最後に、各家庭のライフスタイルに合わせた省エネの取り組みが提案ができる「うちエコ診断」の紹介がありました。早速やってみようと思われた方がありました。

■参加された方からは、「専門家の方に話を聞いて良かった。これからもトライしていきたい。」「省エネチャレンジはいろいろ意見を返してもらえるので勉強になる」「いろいろと気づくことがあった。今日聞いたことを実行したい」などの声をいただきました。さらに省エネの取り組みが前進していくのだなと感じました。みなさんも「省エネチャレンジ」「うちエコ診断」でエコライフを楽しみませんか。

宮崎 学 (CASA事務局長)